

プレスリリース

朝来市報道記者発表資料

令和8年4月6日

令和8年度新配属の地域おこし協力隊員が活動を開始します！！

《事業のポイント》

令和8年4月から新たに1名を地域おこし協力隊員に委嘱します。

活動先：与布土地域自治協議会 「島田 善博（しまだ よしひろ） 隊員）

配属協力隊員の内容

〈プロフィール〉

大阪府大阪市出身。同市内で高校・大学へ進学し、就職を機に上京。16年間の会社員生活の後、大阪へ戻りフリーランスでの業務および家業の支援を行う。その後、子育ての一環として米国カリフォルニア州へ2年間移住。その際に自然豊かな生活環境に魅了される。帰国後、自然豊かな第2の故郷を模索する中で地域おこし協力隊の存在を知り応募する

〈ミッション〉

“空き家を活用した田舎体験プログラムの実施”

空き家を再利用した宿泊施設+果樹収穫体験施設（田舎体験プログラム）を通じて、まずは関係人口を増やすことを目指します。

本件に関する問い合わせ

担当部署：朝来市まちづくり協働部市民協働課

電話：079-672-3065

課長 足立 高光

担当 山木 慎也

島田 善博（しまだ よしひろ） 隊員

活動先：与布土地域自治協議会

<プロフィールとミッション>

大阪府大阪市出身（1979年7月8日生）。同市内で高校・大学へ進学し、就職を機に上京。16年間の会社員生活の後、大阪へ戻りフリーランスでの業務および家業の支援を行う。

その後、子育ての一環として米国カリフォルニア州へ2年間移住。その際に自然豊かな生活環境に魅了される。帰国後、自然豊かな第2の故郷を模索する中で地域おこし協力隊の存在を知り応募する。

地域おこし協力隊としてのミッションは、空き家を再利用した宿泊施設＋果樹収穫体験施設（田舎体験プログラム）を通じて、まずは関係人口を増やすこと。

今後は与布土地域自治協議会に所属し、関係者と協力しつつ、田舎体験プログラムの推進活動を行います。

また、畑や果樹園で収穫した野菜や果物を使った特産品作りにも取り組みます。

